

第5期宮前区区民会議第8回会議

第5期宮前区区民会議第8回会議

1 日 時 平成28年2月12日（金）午後6時15分

2 場 所 宮前区役所 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 宮崎委員長、川田副委員長、佐々木副委員長、青木委員、大木委員、
葛西委員、中里委員、大槻委員、山田委員、黒澤委員、田辺委員、細谷委
員、滝本委員、川畑委員、青柳委員、太田委員、
小田委員

(2) 参 与 持田参与、矢沢参与

(3) 事務局

4 議 事

(1) 誰もがぐらしやすいまちをめざす部会の提案に向けて

(2) みやまえ魅力探訪部会の提案に向けて

(3) 部会審議内容についての意見交換・質疑応答

(4) みやまえ区民会議フォーラム2016について

5 その他連絡事項

6 傍聴者数 1人

午後6時18分開会

司会（秋山） どうも、お待たせをいたしました。それでは、これから第5期宮前区区民会議第8回会議を開催させていただきます。

本日の進行役を仰せつかりました宮前区役所企画課長の秋山でございます。よろしくお願ひいたします。申しわけございません。これ以降は着座にて進行させていただきます。

会議開催に先立ちまして、事務連絡をさせていただきます。

本日の会議開催に当たりましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、公開とさせていただいております。したがって、傍聴、報道機関等の取材を許可しておりますので御了承ください。また、会議録作成に当たりまして、速記者に同席いただいております。よろしくお願ひいたします。そして、本日発言のございました方々につきましては、後日、議事録の確認をお願いしたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。確認後の議事録は区役所ホームページに掲載をいたします。

また、傍聴者の方々につきましては、遵守事項をお守りいただきまして、本日の会

議に関するアンケートに御回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

次に、本日の委員、参与の方の出席状況について御報告をいたします。区民会議委員につきましては、本郷委員、鈴木委員、笹川委員から御欠席の連絡をいただいております。また、御用件の関係で黒澤委員が遅れるという御連絡もいただいております。また、本日は、矢沢参与、持田参与、佐々木参与に御出席をいただく予定でございます。また、それ以外に添田参与、渡辺参与、飯田参与からは事前に欠席される旨の連絡をいただいております。

1 開会あいさつ

司会（秋山） それでは、議事に先立ちまして、宮前区役所から挨拶をさせていただきますが、本日、宮前区長は所用がございます。代理で副区長の竹花から一言御挨拶をさしあげます。

副区長 皆さん、こんばんは。副区長の竹花でございます。本日、区長の野本につきましては公務が重なりましたことから、やむなく欠席とさせていただきます。私のほうで一言御挨拶させていただきます。

委員の皆様におかれましては、本日は御多用のところ、また大変お寒い中、会議に出席いただきましてありがとうございます。

早いものでございまして、一昨年4月に第1回の全体会議を開催させていただきましたから2年近くがたとうとしております。この間、皆様におかれましては、実に7回にわたります全体会議と両部会それぞれ9回の会議を通じまして、暮らしやすいまちづくり、また、区の魅力発信に向けまして議論を深めてきていただいたところがございます。また、会議に加えまして、数々の現地調査、視察、また、それをもとにしたモデル事業も展開していただきまして、より具体性、現実性の高い提案に向けて、この間、取り組んできていただいたところがございます。改めまして、この間の皆様の御労苦に感謝申し上げる次第でございます。

本日は、第8回の全体会議ということでございまして、まだこの後3月にフォーラム等の予定もございますが、会議といたしましては本日が最後でございます。提案書の取りまとめに向けまして、本日もぜひ委員の皆様の御活発な議論をお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、一言御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会（秋山） 続きまして、皆様のお手元に配付しております資料を確認させていただきます。

表紙には、本日の会議次第を記載しております。めくっていただきまして、右側のページでございますが、区民会議からのお知らせになっております。3ページ目、4

ページ目は座席表と委員、参与、事務局の名簿になってございます。5ページ目から8ページ目、8ページ目はページの記載が漏れておりますが、こちらはくらし部会の審議報告と提案方針となっております。9ページ目から12ページ目は魅力探訪部会の審議報告と提案方針が記載されております。13ページから14ページは今後の予定となっております。15ページから17ページは今後開催する予定の区民会議フォーラムについて御案内をさせていただいております。18ページ目は区民会議交流会の結果報告が記載されております。以上が本日の会議資料でございますが、落丁等ございませんでしょうか。

このほか、委員の皆様の所属団体からのお知らせや広報紙などをお配りしております。こちらにつきましては、本日この会議の最後のほうで御紹介をさせていただきます。

それでは、これより第5期宮前区区民会議第8回全体会議を開催いたします。これからの進行は委員長にお願いいたします。宮崎委員長、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案に向けて

宮崎委員長 こんばんは。それでは早速ですが、これから始めさせていただきます。

本日は、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございました。今お話があったように、本日は第8回の全体会で、第5期宮前区区民会議、2年間の最後の会議でございます。2年間の活動の成果としてまとめる地域の課題解決に資する提案をより確かに、実現性、実効性のあるものにしようと、早くから委員みずから取り組む思いを持って活動してまいりました。その結果、これまでの会議で発表しました数々の試行的取り組みをこの2年の任期のうちに進めることができました。本日は、こうした試行的取り組みを中心に、2年間の活動を振り返りながら、この後まとめる提案の方針について御報告させていただきます。

それでは、まず、誰もがくらしやすいまちを目指す部会の審議経過と提案方針について、川畑部会長から御報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

川畑委員 誰もがくらしやすいまちをめざす部会、通称くらし部会の部会長をしています川畑です。くらし部会のこれまでの提案の方針についての審議経過を踏まえながら発表させていただきたいと思っております。資料は、先ほど言われたように5ページから8ページまでを参照しながらお聞きいただければと思います。

くらし部会は、まずこれまでの活動ですけれども、第5期が専門部会に分かれて本格的に活動を始めてから約1年半で9回の専門部会を行いました。その中で地域の見守り活動とかサロン活動、あるいはコミュニティカフェなどの視察会、あと、くらし

部会が運営する稗原ゆ〜ず連絡会、試行的取り組みの実施先での打ち合わせなど、全部で合計25回の活動を行ってまいりました。

私たち暮らし部会では、発足当初から地域包括ケアシステムの本格実施に向けて、宮前区らしい地域包括ケアの形をつくることにかかわっていきたくと考え、市議を進めてきました。その中で、誰もが住みなれた地域、本人が望むところで安心して暮らし続けられるまちを目指して、既存のさまざまな取り組みとか新たな居場所の創設などについて議論をこれまで交わしてきました。

その結果、まず自分たちで地域の居場所をつくってみようと考えました。先進事例などの視察も行いましたが、その事例の中では、やはりコストが問題になってくることがわかってきました。それで、できれば少ない負担で始められる方法を検討してまいりました。

部会では、稗原地区で新規に开店するカフェに注目をして、稗原の7つの自治会と周辺の福祉、医療、教育施設が集まって稗原ゆ〜ず連絡会を発足、このカフェを拠点として活動を開始したということです。このカフェの中では、さまざまな健康講座、イベント等を地元で行って、互いの顔が見えるような支え合える地域社会をつくることを目指し、活動を現在も続けております。

もう1つですが、馬絹地域にあるCafetimeマギヌさんです。これは、現在、お店のオーナーが地区を担当する宮前平地域包括支援センターの職員の協力を得て、ほっとやすらぎステーションという取り組みを進めております。このほっとやすらぎステーションというものは、福祉や介護、生活に関する相談ができる地域包括支援センターの電話番号をこういうカード形式で記して、それを店内のテーブルに配置して、その仕組みを実際につないでいくというものを考えております。

今回、地域の皆さんとふれあいつくりのイベントを開催する取り組みを考えておまして、14ページのチラシですが、今月の26日にコンサートを予定しています。これについては、お店の形態とか、その場所、場所の特徴を捉えながら今計画しているところで、今回はコンサート形式で実施する予定になっております。

実際、このCafetimeマギヌさんでは車椅子の御家族の方が見えられたということがありました。そのカードを手渡して、地域包括支援センターの紹介をした事例もございました。今後、こういう相談に乗れるような場所を提供できる取り組みにどんどんつなげていきたいと思っておりますし、これが一つのきっかけになればいいかなと思っております。

さて、このような試行的な取り組みを踏まえた私たち暮らし部会の提案の方針としては、ほっとやすらぎステーションを広めようということです。誰もがいつまでも住みやすい地域にするために、身近な地域で気軽に立ち寄り交流できる居場所、地域福祉と困った人をつなげる仕組みが必要だと思っております。それを実現する方法

の一つとして、このほっとやすらぎステーションを宮前区内各地域に広げていきたいと思っております。

くらし部会では、稗原地区と馬絹地区の2つのカフェをモデルとして今回進めましたが、このように既にあるお店などと協力して相談できる拠点づくりをどんどん進めていってはどうかと思っております。実際その飲食店だけではなくて、店主とお客さんの会話が比較的できるような場所、例えば散髪屋さん、理髪店とか美容院、あるいは、日ごろ顔をつき合わせるクリーニング店、そういう場所もいいんじゃないかと考えています。あとは、医療と福祉のつながりも深い整骨院さんだとか調剤薬局というのも有効じゃないかなと、いろいろ議論しながら、そういう話が出ております。

このほっとやすらぎステーションですが、当初言ったコストの問題等もあって、なるべく費用をかけずに運営していくことをやっていくというのが大きな特徴だということです。実際それをどんどん申請式で増やしていくのではなくて、例えば認定制度を設けたり、その認定制度に至るには定期的な講習会を実施したり、地域福祉についての基礎的な知識を習得してもらうなど、質の向上もやっていく必要があるんじゃないかと思っております。

稗原ゆ〜ず連絡会のような取り組みは、地域の結びつきが少ない場所では実現が難しいかもしれません。稗原ゆ〜ず連絡会のノウハウを生かしながら、ほかの地域でも活動ができるような手法を考えるとともに、同じような活動に対して必要な支援をしていければと思っております。

くらし部会の取り組みはいったん3月で区切りとしますが、稗原ゆ〜ず連絡会の活動は今後も続いていきます。また、ほっとやすらぎステーションも活動を継続するように、ぜひ第6期にまで引き継いでいきたいと思っております。今回の取り組みが宮前区独自の地域包括ケアシステムの一助となって、例えば病気とか障害になっても安心して暮らせるような宮前区の居場所づくり、活動につなげていければなと思っております。

以上でくらし部会の報告を終わります。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

(2)みやまえ魅力探訪部会の提案に向けて

宮崎委員長 それでは、引き続きまして、魅力探訪部会の青柳部会長、よろしくお願いたします。

青柳委員 みやまえ魅力探訪部会、通称魅力探訪部会の部会長、青柳と申します。魅力探訪部会の提案の方針について、これまでの活動を振り返りながらお話をさせていただきます。

魅力探訪部会は、くらし部会と同様、9回の専門部会を開催しました。また、魅力

を自分たちで再発見するためのバスツアーを3回実施したり、試行的取り組みの発表に合わせたイベントも行ってまいりました。さらに、試行的取り組みについて区民の皆さんから意見を伺う拡大部会も開催、取り組みを進める段階では、適宜委員が集まり、検討を重ねてまいりました。

部会では、宮前区に数多くある貴重な資源を区内の人のみでなく区外、市外の人、遠くから訪れる人にも知っていただき、そして触れていただくために必要なことを議論いたしました。また、先ほど申し上げましたように、バスツアーや区民と対話する拡大部会を通じて、その手段を考えてまいりました。

この結果から生まれたのが「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」と「みやまえハテナノタネ・自由研究のMe!」です。それぞれの試行的取り組みについては、第6回、第7回の全体会で報告させていただきましたが、現在の状況について簡単に御報告いたします。

「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」は、昨年11月、2カ所に設置、運用をスタートした後、設置箇所を増設して、現在は7つのバス停から6カ所の魅力スポットを案内しております。皆さんも、バスに乗る際には、ぜひこのステッカーの案内をごらんになっていただきたいと思います。

できれば、区内の全てのバス停についていて、どこからでも貴重な資源につながる、そんなまちを目指していきたいです。さらに、バス会社の枠を超えて市内全域に広がっていくことも理想としております。ただ、今はウェブ上のページにアクセスしてブラウザで情報を閲覧する形式ですが、将来はこれをアプリ化して、例えば音声ナビゲーションや動画情報、バスの時刻案内など、高機能化、多機能化するなどの発展性も検討しております。

続いて、みやまえハテナノタネですが、これについては中心的に動いていただいております葛西委員に報告していただければと思います。葛西委員、よろしく申し上げます。

葛西委員 「みやまえハテナノタネ・自由研究のMe!」を紹介させていただきます。

宮前区内の歴史や自然などの資源の魅力を謎解き形式で紹介するリーフレットです。子どもたちの教育に役立つもの、特に自分から学びたいという意識を持ってもらえるようなものを、そのお父さんやお母さんが手に取ってもらいたいという思いから、地域学習や夏休みの自由研究での活用も意識して考えられました。

ハテナノタネの最大の特徴は、地域で活動している方とふれあい、謎を解くというものです。そのために、製作に当たっては、実際に地域活動をされている方から御意見を伺い、謎の設定や参考資料の記載などを進めてきました。

現在は、内容の最終調整、レイアウトの修正段階に入っており、3月に実施する区民会議するフォーラムで「みやまえ6つの謎編」をリリースし、皆さんにお配りする

予定です。

青柳委員 どうもありがとうございました。

この「みやまえハテナノタネ・自由研究のMe!」、学習しながら、区内を楽しみながら歩ける、一つの本ですかね。手軽に持ち出して、その現地に行ってみようという趣のあるものですので、でき上がりが非常に楽しみでございます。

以上が私たちの魅力探訪部会の試行的取り組みでございます。これらの取り組みは、第5期の任期が満了する3月をもって一つの区切りとなります。しかし、提案はこの2つの取り組みの実現だけではありません。魅力探訪部会が目指す、区内外に地域の資源を広く知ってもらい、訪れてもらうための情報発信を総合的に実現、推進する組織として、「みやまえ魅力探訪ネットワーク」という構想を提案いたしたいと考えております。これについては、佐々木副委員長から御報告をお願いいたします。

佐々木副委員長 では、引き続き私のほうからは、今回この第5期のみやまえ魅力探訪部会で審議した施策がこれからも、私たちは3月で任期が切れますが、継続して具体的に実現されるための方針ということで、この「みやまえ魅力探訪ネットワーク」ということを御提案させていただきたいと思っております。

まず、昨今、インターネット、いわゆるスマートフォンという携帯端末の普及により、いつでもどこでも瞬時に世界中の情報を手に入れられるという社会になっているのは皆さん御認識のとおりであると思っております。ただ、一方で、情報はあふれ返ってはおりますが、本当にその人が必要だ、欲しいという情報がどうやって手に入れられるかということが課題になっているかと思っております。

そこで、この「みやまえ魅力探訪ネットワーク」では、地域でさまざまな情報を持っている人と、いろいろな取り組みを進める地域活動団体の人が実際に手を取り合って情報交換をし、そして、その情報をフェイスブックを初めとしたSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）や、行政の刊行物、各種メディアを初め、さまざまな情報発信手段の一つに集約し、発信したらどうかという御提案となっております。

この「みやまえ魅力探訪ネットワーク」というのは一つの組織の絵姿ではあるのですが、私どもはこの組織づくりということを目標にしようとしているわけではなくて、新規にこの組織をつくらうとしているわけではなくて、現在いろいろな活動をされている組織がありますが、その組織のネットワークを組むことによって、先ほど私たちが申したようなことが実現できたらいいかなというような考えでおります。

そのためには、この「みやまえ魅力探訪ネットワーク」では、まず私たち、今期の魅力探訪部会委員が中心となって、今回発案した2つの試行的取り組み、この資料の12ページにありますような、1つは、バス停にステッカーを貼って、区のいろいろな魅力あるところを御紹介、そこまでの誘導をするという「みやまえ魅力スポット・寄ってこ！ガイド」、それと、先ほど葛西委員から御報告がありましたような「みやま

えハテナノタネ・自由研究のMe!」という具体的な試行的取り組みを発展、応用していただくことを目指しております。

そうした具体的な活動を積み重ねていくことで、将来、私たちが理想とする働きを持つ、この「みやまえ魅力探訪ネットワーク」がそのような組織になればいいと考えております。当初の活動に当たっては、第3期の区民会議提案で実際に結成され活動されておりますみやまえ情報ラボさんとも協力しながら進めていきたいと考えております。

このように、さまざまな人のノウハウとネットワークを活用して、地域の魅力をもっともっとたくさんの区民あるいは区外の人に伝えていきたいと私どもは考えております。

以上がみやまえ魅力探訪部会の考える提案方針となります。以上で報告を終わらせていただきたいと思います。

青柳委員 どうもありがとうございました。

以上でみやまえ魅力探訪部会の経過報告を終わらせていただきます。

宮崎委員長 両部会の部会長並びに委員の皆さん、どうもありがとうございました。

(3)部会審議内容についての意見交換・質疑応答

宮崎委員長 さて、両部会の活動内容を一通り御報告させていただきましたが、委員の皆さんから補足したいことや、もう一方の部会への質問、意見などがありましたら、挙手の上、御発言をお願いできればと思っております。

川畑委員 今説明していたみやまえ魅力探訪ネットワークですけれども、我々の今活動している例えばほっとやすらぎステーションとか、稗原ゆ〜ず、そういうものもここへのつけられるということで捉えていいですか。

青柳委員 はい。そうですね。やはり宮前区内のいろんな市民活動団体、あるいは個人で、まちの中でなされていることも含めて、区のネットワークという形で全てそういうものにかかわってもらえるような、あるいは網羅してネットワークが組み立てられたら理想かなと思います。

川畑委員 ありがとうございます。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

それでは、ほかにどなたかおられましたら。

大槻委員 今のネットワークの問題も、探訪部会のほうでは先ほど御報告がありましたような2つが結果として、成果として出たわけでありましてけれども、このネットワーク化をどうしていくか。構想としてはこういうような形であるわけでありましてけれども、今後こういうものをどのように発展させていくかということは、どういう引き継ぎ方、あるいは連携の仕方をしたらいかなというところがこれからの課題ではない

かと思うんです。

それから、くらし部会のほうも、先ほどお話しありましたように、今後第6期につなげていくということもありますけれども、こういうテーマと、それから新しい委員さんが今度加わって、どういうテーマを取り上げるかということで、この連携の仕方もまたいろいろ討議があろうかと思うんです。区民会議の継続の仕方とか進め方を今後どうしたらいいかというのは一つの課題ではないかなということで、私が4期、5期をやった思いとして、意見として、お話ししておきたいと思っております。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。私ども、以前からその辺がちょっと気になっておりましたので、具体的にまず皆さんそれぞれから御意見をいただくのも一つの手としてあるのかなと考えております。

ほかにどなたか、今の引き継ぎ云々のことも含めて、ありましたら。

川田副委員長 今の大槻委員のお話で、前回、大槻さんから、長期的なところを企画部会のほうで話し合っているのかというものが出たと思うんです。あの時点では、まだその答えが出るような話し合いができる段階ではなかった。それで、今回が最後ということがありまして、くらし部会からも、それから魅力探訪からも、長期的というようなことでつなげていってほしいということが出ておりました。ですので、これが長期的な取り組みをしていきたいという区民会議の答えだと受けとめていただきたいと思うんです。

確かに、今まで行政というのは縦社会というのをよく聞きますよね。大分行政サイドも変わってはきていると思うんですが、ということは、事務局としている区民活動も、やはり縦だったと思うんです。だけど、そこに同じようなものが幾つもあると思うんです。

宮前区というのは、本当に活動団体の多い区だと思いますので、そこが手をつながないのは、とてももったいないと思うんです。歴史のある宮前区でもまちづくり協議会というのがありますが、今回田辺さんたちも出ていますけれども、こちらがそういった情報をお持ちだと思うんです。ですので、そちらのほうと情報交換をしながら、そういう方たちとつなげていっていただいて、同じようなところで情報交換会、またはそこからいろんな展開を考えるように持っていくとか、それはいろいろあると思うんです。

くらし部会のほうはケアシステムというものを根底に置いておりますけれども、これはつながるということですので、そういう面では魅力探訪の同じような方たちともつながりを持ちたいということでは、同じだと思うんです。ですから、6期のほうではつながっていくということを大きなテーマとして取り組んでいけばいいのではないかと私は考えております。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

そのほか、どなたか御意見がありましたら挙手をお願いしたいのですが。

田辺委員 この区民会議の皆さんのほとんどは、この間の7区の区民会議交流会に出られたと思うんですけれども、そのときにもかなり話題になったのが、この区民会議のあり方を見直す必要があるという意見がいろんなグループで出てきたと思うんです。

継続という話は今ありましたけれども、私、交流会へ出て初めて知ったのですが、宮前区は2区4年までしか最長区民会議委員をできないということらしいのですけれども、ほかの区はそうでもないんですかね。何か規約によれば最長10年までできるということです。ですから、継続という意味であれば、なるべく長く委員をやられる方がいたほうがいいのかと思うのが1点目です。

2点目は、これは区民会議の限界といえますか、区民会議はあくまでも課題解決のための提案までが仕事でして、実際に実施する、運営するということは、提案に応じて行政さんのほうで判断されて、行政さん自身もやることもあるかもしれませんが、どこか民間企業に委託することもあるかもしれないし、あるいはどこか市民活動団体をお願いすることもあるかもしれないという非常に不安定なものなんですよね。ですから、そういう意味では、もしこれからの区民会議が立派な提案をしても、本当にきちんと最後まで、実施までやり遂げるという観点に立つのであれば、区民会議そのものも、今の区民会議でない、完全に役割も変えるという抜本的な改正をしない限り、これは絶対改善しないと思います。

以上です。

宮崎委員長 ありがとうございます。

それでは、時間もありますので、次のステップに移らせていただこうかと思っております。本日は参与の方がお越しいただいておりますので、参与の皆さんからお話をお伺いできればと思っております。県議の持田さん、一言お願いいたします。

持田参与 皆さん、こんばんは。遅れて参りまして中身がしっかりわからないで発言ということで、恐縮でございます。

皆様方、2年間本当にお忙しい中を、宮前区を少しでも向上、アップしていこうということでお力添えをいただいております。心から、私からも御礼を申し上げたいと思いますし、なかなか全てを聞かせていただくという場面が私自身もなくて恐縮なのですけれども、皆様方がいろいろ御発言いただいたり、取りまとめていただいておりますことをまたしっかりと地域の中から、また議会の場面でも努力してまいりたいなと思っております。

実は、きょう、黒岩知事が宮前区に入ってくださいました。何で入ってきたのかということですが、知事に私も宮前区にはこういったところがあるんだよということも再三お話をさせていただいております、時間をおとりいただいて、入っただけなんです。

それは、農業関係でありますけれども、馬絹に花卉を生産しているグループがございます。花卉といっても幅広いのでありますけれども、馬絹の花卉のグループは多種多様にやっておりますが、その中できょう見ていただきましたのはハナモモです。3月3日に市場に出荷されて、ちょうどそれが適期ということです。自然相手でありますから、なかなか3日には咲いてくれないわけです。ですから、早くに桃の木の枝を切って、それを今度、昔は室という土の下に掘った穴に入れて、温度を少し上げながら、3日、あるいはまた、その前の出荷に合わせて花を咲かせるために、いつごろ切ったらいいのかなということで、何回かに分けて市場出荷をしています。

こういふことで、今は、室も残っておるのですけれども、地上の部分にそうした温度調整をできるような空間をつくりながら、あるいはそれをやるために、切った枝を、また枝から枝が出ておりますから、それをコンパクトにまとめるということで、枝の枝折り技術というものがございます。単にまとめてしまいますと枝が全て折れてしまいますから、それを丁寧に枝折っていく。これも一つの技術であります。神奈川県の中でこうした農業が、全国的にクローズアップをしていただける場面がありますので、900万をもう超える神奈川の中にもこういったことがあるとしっかりと見ていただいたということです。これからの時代の中で人口減がやがてやってまいります。そういったときにどのような空間を地域として都市の中につくっていったらいいのかな、こんなことも知事には見ていただいたということでございます。

皆様方がいろいろな視点の中で宮前区を見ていただいて、他区と比較をしていただきながら、宮前の利点、よさ、こうしたものをクローズアップしていただいております。まだまだ潜ってしまっている部分もあろうかと思っておりますけれども、なるべく大勢の方々で見ていただいて議論を進めていただきますことが、さらに一層深い宮前区ができ上がり、また、将来に向けて、子どもたちもそういった空間の中でより深い文化的な要素、あるいはまた学習ができるような場面、そうしたものを皆様方がまたおつくりいただけるのかなと思っております。心から感謝を申し上げまして、一言とさせていただきます。ありがとうございます。

宮崎委員長 ハナモモのお話、どうもありがとうございました。

それでは、引き続きまして矢沢参与さん。

矢沢参与 皆さん、こんばんは。お疲れさまでございました。

私もつい先ほど到着したばかりで、来週の15日から第1回の定例会が始まる関係で、その準備でばたばたしておりまして遅くなってしまったことをまずお詫びさせていただきます。

私は、先日の2月3日に行われました区民交流会議のほうも見せていただきまして、その場にも一部参加をさせていただきまして、率直に感じたことは、皆様、この宮前区民会議の取り組みが他の区の中でも参考になっている、そういうテーブルがた

くさん見られたということが、私にとっても、そして皆さんの2つの部会のそれぞれの活動の成果が非常にすばらしい形で出ていたのだなということを強く感じました。

その一方で、先ほど後半でも田辺委員からもお話がありましたけれども、区民会議のあり方というものがやはりどのテーブルでも同じように課題に出ていたのかなと考えています。2年間の任期でできることが限られている。若い委員の参加がまだまだ進んでいない。自治会とのつながりが無いであったりとか、そして、きょうは持田参与も参加されておりますが、我々議員として、参与としての位置づけ、こういったものも区民会議のあり方の中では各テーブルの中でそれぞれ出ていたので、これはどの川崎7区の中でも議論になっているものなのかなということを強く感じました。すぐに答えが出るものではないのですが、皆様だけでもだめですし、行政の方々だけでももちろんだめでございます。しっかりとここの部分、我々も参加させていただきながら、議論をして、次につながる区民会議にしていければなということを感じました。

ですが、前回の交流会でも強く感じたことは、皆様の活動の成果がすばらしく出ていたことは本当によいことだなということを強く感じましたので、一言だけ、御挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。

それでは、両部会の報告が終わりましたので、本日御報告した提案方針は、企画部会委員を中心に提案書としてまとめ、区民会議フォーラムまでに区長に提出する予定です。宮前区役所には、受けていただいた提案をぜひ実現していただきたいと考えるとともに、私たち委員も、3月末で任期が終わりますが、それぞれの活動団体や地域の現場で連携を図りながら、さらに実現に向かってフォローアップをしていきたいかと思っております。

ほかに何かありましたらと思いますが、どうぞ。

大槻委員 私も4期、5期と4年間やって今回で終了するわけでありましてけれども、先ほどから話がありましたように、区民会議のあり方についてはいろいろ考えるところがあるのではないかなと私も前から思っております。区民会議のテーマの取り上げ方についてもいろいろ考えるところがあったわけでありましてけれども、今回のような2期にわたって成果が得られたということはよろしいかと思っておりますが、もっともっと考えるべきことがたくさんあるのではないかなということ。

それから、参与の方もきょう、持田参与と矢沢参与、お話しいただいたわけでありましてけれども、この全体会議でちょっとお話しいただくというところに毎回とどまっているということなので、我々、最後の前に参与の方々と、この委員全体というのものなかなか難しいかもしれませんが、企画部会を中心にして、参与の方々とじっくりとお話しする機会をぜひ設けていただきたいというのが、最後の強い要望としてお願いしたいと思います。

宮崎委員長 わかりました。その辺に関しては、私の対応だけでできるものでもございませんので、関係者との調整等々をして、改めてまた対応できればと思っております。

(4)みやまえ区民会議フォーラム2016について

宮崎委員長 続きます、3月に開催を予定しておりますみやまえ区民会議フォーラムについて御報告させていただきます。こちらにつきましては事務局のほうで御報告いただいた後、委員間で意見交換できればと思いますので、事務局のほうでよろしく願います。

事務局（岩下） はい。お願いいたします。

皆様、資料の15、16ページを見開きの形で開いていただけますでしょうか。企画部会の結果としての現状を報告させていただきます。

今まで何回か確認したことからになります、まず、みやまえ区民会議フォーラム2016ということで、約1カ月後、3月13日日曜日に開催いたします。

企画内容ですが、両部会それぞれ個別にこれまでの試行的取り組みの体験等の企画を行います。それぞれ午後2時45分ぐらいまでには終わる形で、3時から4時の1時間はこちらの宮前区役所大会議室で、総括の全体会を行うというような流れになっております。

それでは、個々の内容を見ていきたいと思えます。

まず、15ページの下の方ですが、魅力探訪部会のほうはプログラム①「まちの魅力を訪ねて、謎を解こう」ということで、地域資源の現場に行つての体験活動を考えております。行き場所ですが、今回、国指定遺跡にもなりまして話題になっております橋官衙遺跡群周辺ということで計画をしているところです。

主な進行スケジュールは、こちらにもありますが、魅力探訪部会の委員さん、事務局等は10時50分現地集合、具体的には能満寺バス停付近ということでお願いできればと思えます。それから、参加者の方は11時に集まっていただくという形になります。

そこから、スマホ等でアクセスできる寄ってこ！ガイドを用いて、影向寺のほうにルートをたどっていただくという体験をまずしようということになっております。影向寺に着いた後は、影向寺、橋官衙遺跡群の魅力の説明、紹介等をまずしようということです。こちらですが、教育委員会の学芸員さんに当日一応御案内いただけるという内諾をいただけたということです。発掘等にもかかわったかなり詳しい方で、部会で1回現地に行ったときにお話しいただいて、その内容がとてもわかりやすくよかったですということで、同じ方に案内していただければいいということです。

簡単に魅力を紹介した後は、12時以降になりますが、ハテナノタネ——謎解きですね——を参加者に配布して、現地でちょっとこの謎を解いてみてくださいというような体験をやろうということです。

なお、昼食は適宜お弁当を持参ということで、1時半ごろになったら、そろそろ全体会の会場の区役所のほうに移動しましょうということで誘導をして、区役所に着いたら全体で答え合わせですとか特別映像。特別映像というのは、橘小学校の児童さんのミュージカルですとかそういったものが幾つかあるということなので、用意できればそちらのほうを見たりというようなことをしたいと考えております。

以上が午後2時45分ぐらいまでの企画となっております。

参加呼びかけ対象ですが、今回、ハテナノタネが小学生、親子に向けた対象も意識した取り組みということで、ぜひ小学生や保護者をまず集めたいと。ただ、今回の取り組み、ハテナノタネ自体も、レベルとして高学年、4年生以上ぐらいを設定しているということで、そういった親子や子どもを学校や子ども会、ロコミで集められたらと考えております。それから、今回、ガイドのほうにもハテナノタネ作成等にも御協力いただいた各団体、例えば観光ガイドの会の方々、あと教育委員会のほうにも声をかけて人を集めようということです。

今後の準備事項ですが、基本的にこのプログラム①の企画は魅力部会の委員さんと事務局で協力して回したいと思っております。具体的には、現地で参加者の引率や安全管理、あと移動の案内等になるかと思っております。

それから、今回ちょっと準備が遅れている部分もありますので、あと1カ月のうちでできるだけ参加者、特に親子を何組か集めたいというところがありますので、各団体で、あと1カ月の中で会合のある団体、ない団体もありますので、ぜひ個別に、できれば一本釣り、直接声かけで委員さんのお知り合い等からも何人か参加者を確保していただけるとありがたいと思っております。

あとは、現地会場の調整です。こちらは先ほど申し上げましたが、影向寺と橘官衙遺跡群をメインで考えておまして、影向寺さんのほうからは、境内でそういった活動をするのはオーケーですよという返事をいただいております。ただ、お弁当の場所等で室内を使えばというお話だったのですが、やはり法事等が急に入る可能性もあるということで、そちらはちょっと難しいというお返事になっております。そのこともありまして、もし雨天の場合の対応が今後の課題になるかなと思っております。

事務局のほうでは、雨天の場合は、一応現地はぱっと見て、早目に区役所のほうに入ってくる形で、謎解きは区役所のほうでできればと、今ちょっと考えていたところでは。

それから、寄ってこ！ガイドですとかハテナノタネは、当日に向けて、こちらは事務局のほうで当日に合わせた内容の作成を進めてまいります。

以上がプログラム①、魅力探訪部会中心の企画になります。

右のページに行きましてプログラム②、くらし部会のほうの企画です。

こちらは「ほっとやすらぎステーションを掘げよう」ということで、ほっとやすら

ぎステーション、交流のカフェの企画を体験していただいて、区内で実際に取り組んでいる方々とも一緒に、今後こういった取り組みを進めていくため、広げていくためにはどうしたらいいだろうということで御意見をいただくという内容になっております。

スケジュールですが、くらし部会の委員さんは11時半集合という案になっております。そして会場設営ですとかをすることです。12時半には開場、お客様の御案内を始めるということです。

今回、ほっとやすらぎひろばということで進めておりますが、その試行版として、ミニ・コンサートを稗原ゆ〜ず連絡会メンバーの方で琴の演奏を御披露いただくということで考えております。こちらはミニ・コンサートとありますが、BGM的に背景で流していただくような形でできればというのが企画部会の御意見でした。

13時から正式な会議を始めるということで、そのオープンまでの15分をまずミニ・コンサート第1部としてやっていただくということです。13時になりましたら、まずくらし部会の考えている今回の提案を御紹介させていただいて、その後はテーブルトークということで、1時間程度を考えております。

前年度の終わりにした形とかなり近いものになるのかなと思います。ただ、今回は具体的にほっとやすらぎステーション、ほっとやすらぎひろばという提案がまとまっておりますので、その内容について、より具体的に御意見をいただくという形になるかなと思っております。

最後の30分は、各テーブルからこんな意見が出たよというようなことをシェアして、各テーブルから発表していただいて、さらに時間内で御意見を交換できればというところです。こちら14時45分、全体会が始まる15分前には終了して、15時までの15分は休憩、こちらでまたBGM的にミニ・コンサート第2部をしていただくという設定になっております。

参加呼びかけですが、地域の居場所、コミュニティカフェや認知症カフェ等、今回視察した事例、あと、それ以外にも名前が挙がったところが幾つかありますので、そういった方々にまず声をかけよう。それから、包括ケアの仕組みにかかわる方、具体的には地域包括支援センターの職員の方々にもお声がけしよう。それから、今回、試行的取り組みを進めている稗原ゆ〜ず連絡会ですとかCafetimeマギヌさんのほうにも声をかけるということです。マギヌのオーナーさんには一応スケジュールを確保いただいているところです。その他、この取り組みを広げていく上で、自治会や商店街の方々にもぜひ、数名でもいいので、来てほしいねというようなことが企画部会で出ておりました。

これからの進め方ですが、委員の役割分担は、くらし部会の委員さんを中心に回すということで、具体的にこれは去年同様になりますが、カフェの運営のほうは川田副

委員長のお知り合いでメインで回していただいて、委員さんのほうは、逆に来ていただいた方を御案内したり、テーブルトークのときの進行や記録役ということが中心になるかと思います。それから、先ほどと同様、ぜひ声かけをあと1カ月の中で、有用な意見、経験ある方をできるだけ集められればなと思っております。各委員さんからぜひ御協力をいただきたいところです。それから、テーブルトーク内容や発表形式等も当日までにきちんと準備が必要かなというところです。

以上がくらし部会のほうの企画になります。

プログラム③、最後、午後3時から4時の1時間の全体会です。こちらはコンサート終了後、全体会開催宣言、区民会議の紹介、試行的取り組みの紹介と、きょうの、事前のプログラム①、プログラム②を簡単に振り返る。その後は、それに対して全体で意見交換、質疑の時間等を少し持って、最後、閉会挨拶という流れになります。

こちらの参加ですが、基本的にはプログラム①、②に参加していただいた方に継続的に残っていただけるような形で考えていければいいのかなと思っております。

役割分担ですが、例年のように司会進行、去年と同様に提案紹介等があるかと思っております。こちらについては、例年のように、例えば、司会はまた太田委員ですとか、各提案の発表は両部会の部会長さんですとか、きょう報告いただいた方にそのままやっていただくのが一番よいかと思ってはいるのですが、いかがでしょうか。

あと、言い忘れましたが、プログラム①のまちの魅力を訪ねてのほうは、事前申し込み制で考えております。というのは、やはり、現地に行くということで保険等の関係も必要ありますし、ある程度人数を事前に把握して運営したいということです。こちらは後で出てきますが、チラシを今大急ぎでつくっているところですので、こちら等を通じて一応事前に参加者の情報を集めたいということで考えております。

次の17ページを見ていただくと、済みません。まずこれは土曜日になってしまっておりますが、3月13日の当日は日曜日です。あと、内容がちょっと、特別企画のタイトルがまだ一致していなかったりという部分はありますが、こういった形で今チラシをつくっております。きょうの会議の終了次第、どんどん参加者確保に向けて御協力をいただければと考えております。

私からの説明は以上です。補足や意見等をこれからお願いできればと思います。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

何か御質問等がありましたらと思っておりますが、大変盛りだくさんに3月13日日曜日の朝から夕方まで、プログラム①からプログラム③まで幅広くいろいろなものがありますので、コミュニティカフェにかなり近づいてきたかなという感じで思っております。

中里委員 ちょっと質問というか、魅力探訪部会のほうですが、11時に能満寺集合、出発ということですのでけれども、そのところで寄ってこ！ガイドを体験するというような予

定になっていますが、今まではバス停には付けていないと思うんですけども、この準備というのは、やる予定になっていますか。

事務局（都築） 今回、フォーラム用に能満寺のバス停付近から案内する寄ってこ！ガイドをつくろうと思います。

中里委員 もうできているんですか。

事務局（都築） はい。このときだけ、ちょっとバス停に仮で貼って、体験していただいて、現地まで行くという形にしたいと思います。

中里委員 では、そのときだけで、あとは撤去してしまうということですか。

事務局（都築） ええ。済みません。ここのバス停には設置ができないようですので、ちょっと仮で今回だけ付ける形になります。

中里委員 わかりました。

宮崎委員長 どうもありがとうございます。

ほか、どなたか何かありましたら。どうぞ。

田中副委員長 参加呼びかけのところですけども、去年も民生委員の方たちに来ていたみたいということで、福祉大会のほうでチラシを置かせてもらったと思うんですが、太田委員、どうですか、ことしは。

太田委員 チラシだったら大丈夫じゃないですかね。

田中副委員長 大丈夫ですかね。

太田委員 青木さんが一応社協のあれから……。

田中副委員長 去年、協会さんにオーケーをもらっているんで、ことしも大丈夫だと思うので。やっぱり民生委員さんというのがともにやるというのはいいと思います。

太田委員 地域に根差していらっしゃいますものね。

田中副委員長 いろいろ情報交換ができますので、ぜひ民生委員さんお願いします。

宮崎委員長 わかりました。幅広く対応すればと思っています。

ほかにどなたか、何か御意見、御質問等ありましたら。

黒澤委員 全体の話でもいいですか。

宮崎委員長 はい。

黒澤委員 今度のこの3月13日の結果についての評価というのか反省というのか、そういうところのやり方、考え方ということと、先ほど委員から、区民会議のあり方の問題であるとか、2年間区民会議の委員をして、課題というのか反省事項ということについて何かきちんとフォローしていきたい、方法についての提案がありましたね。そういうところの我々が2年間やってきた評価をどういうふうにして皆さんに知らせるのか。評価というよりは反省も踏まえて、これはだめだったんじゃないの、とてもよかったんじゃないのというのは、どういうふうにして発表するのか。

それから、2年間我々がやってきたこのメンバーと、その課題を、このお2人が区

民会議のあり方だとかいうことをいろいろ言うておりますね。それをどういう形で引き継いでいくのか。申し送り事項なのかということところが、質問というのか、検討をお願いいたします。

宮崎委員長 わかりました。要は、第6期への事務の引き継ぎというのですか、何かそういったことをいろんな角度から対応しなければだめかと思っております。それは事務局サイドと調整しながら、次回のフォーラムの前後にでもちゃんとお話しできればと考えております。大体そんなところでよろしいでしょうか。

ほかは何か。事務局のほうでは、この辺に関しては、いや、こうだ、ああだと、何かもし……。

事務局（都築） フォーラムで参加された皆さんに御意見をぜひいろいろいただきたいと思うのですが、それは最後にまとめます報告書のほうにしっかりと書いて、それもあわせて第6期に引き継いだり、皆さんに読んでいただくような機会を設けたいと思います。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

引き続きまして、どなたか何か御意見がありましたら。時間が多少早目に終わりそうですけれども。

葛西委員 フォーラムのチラシですけれども、大体いつごろできる予定でしょうか。

事務局（都築） きょうの内容でよろしければ、この後つくって印刷をして、必要部数を月曜日に皆さんに発送したいと思います。火曜日に皆さんのお手元に届くようにしたいと思いますので、済みません、そこが最短になって申しわけないのですけれども、そこで皆さんに御協力をいただければと思います。

宮崎委員長 どうもありがとうございました。

そろそろそういうことで、ほかにどなたか御意見がありましたら。

川田副委員長 時間があるのであれば、一言ずつ皆さんに。最後なので。

宮崎委員長 それでは、少し時間がありますので、委員になった一言ずつ何か印象評価を。そちらから、速記者の隣の青柳さんのほうから、印象評価というか、区民会議のメンバーになって、いろいろ勉強されたかと思うんですけれども、何かそういったことを。

青柳委員 そうですね。やはり今回、2年というのは私にとっても勉強になるというだけでなく、自分の生活圏の中で足を突っ込んで、いろんな課題だとか、委員さんを初めいろんな方々の御意見を伺いながらできたということは、今後の自分の生活の中にも楽しみなことがたくさんできたなと思いました。新しい発見ができるということは、次の毎日毎日、生活をしていく中で生きがいにも非常になるということで、本当に宮前という土地はすばらしいなということをつくづく感じました。

葛西委員 初めて委員になって、一体何をやるのだろうという感じで始めたのですけれど

も、実際2年たってみて、皆さんとお知り合いになれたりとか、あと、地域の、本当にすぐ近くの活動をされている方たちのこととかを全然知らなかったのですけれども、そういう方たちとも会ってお話ができたりとか、とても実りある2年間だったような気がします。ありがとうございました。

中里委員 私も初めてこの区民会議に参加させていただきまして、一番最初の会でもお話ししたと思うんですが、私が住んでいるのは野川というところで、宮前区の区役所から一番遠いエリアなんですけれども。そんなことで、今回のこの2年間でいろいろな団体の方が活動しているということが勉強になりました。というのは、やはり区役所から遠いという意味だと思うんですが、野川の方というのが余りいないんですね。こういう活動に関心も薄いんですね。

きょう、このフォトコンテストの写真を見ていましたら、宮前区で全体的な写真の場所というのがありまして、野川って、余りないんですね。影向寺はあるのですけれども、影向寺は有名ということで。ただ、見てみると、野川ってないなというのが印象で、やっぱりこれは宮前区役所から遠くて、関心がちょっと薄れちゃうのかななんてあって、その辺が今回の2年間ではちょっと活動的には何もできなかったというか。ですが、そんなことも含めまして、いろんな活動をされている団体があるなということで、勉強させていただきました。ありがとうございました。

大槻委員 今回で終わるわけでありまして、区民会議とは何かというのは、やっぱり委員の方々にいろいろ思いが違ってしまうように感じたんです。ですから、先ほど申しましたように、やはりそういう面でもう1度よく考えていかないといけないだろうと思います。

私、4期で区民会議の委員になるときに、区民会議とはどういうことなんだろうかと、特に第1期の議事録を詳細にずっと読ませていただきました。第1期のときにはいろんな問題が提起されておりますので、そういうようなものを実現していくことを考えていかないといけないのではないかなと思っております。

それから、先ほど言いましたような、参与の方々ともじっくりお話しする機会をぜひ設けていただきたいなということでもあります。

この区民会議を通して、私もいろいろボランティア活動について思いがあるようになりましてけれども、80も半ばにして今後どうするかであります。これからは、区民会議委員をやめても、やはり宮前区を住みよいところにするにはどうするかというようなことでいろいろ活動してまいりたいと思っております。どうもありがとうございました。

山田委員 委員の山田です。市民活動その他に今まで余り協力できなかったのですけれども、この会に加えていただいて、大変に勉強になりました。勉強になるなんて言っているのは本当はだめなんですけどね。

私は魅力探訪部会のほうをやらせていただいたのですけれども、当初設定された内容としては、魅力を区民に大いにPRしていこうということと、もう1つ、大いに外に発信していこうということで始まったはずです。それで、中への発信は、このハテナノタネというのはすばらしいですね。ただし、これは今は取っかかりなので、これをすばらしいものにしていくためには、先ほどからずっと話が出ていますけれども、継続して初めて味が出てくる。それから、こちらのバスガイドの寄ってこ！ガイドのほうも、継続しなかったら、6カ所で、はい、さようならになっちゃうんですね。

ですから、今までちょっとお話が出ていますように、この会は区長さんへの政策提案みたいなものの比重が前の期を見ると非常に高かったのですけれども、今期は割に地に足が着いたものが出てきて、私は一つの方向を示しているのではないかと思っています。そんなことで、非常に力不足で余りできなかったのですけれども、皆さんに教えていただいて、2年間やってこられました。ありがとうございました。御礼申し上げます。

黒澤委員 向丘地区自治会連合会団体から推薦されて、2年間務めました。今、山田さんは宮前区の自治会連合会からの団体で推薦。考え方というのは、なるほどな、この2年間こういうふうに来てきて、非常に同じような発言を私も今したいなと思っていたことをそのまま言ってくれたということで、これからは魅力探訪ということについては、住みよい明るい暮らしよいまちづくりという我々自治会の標語を、自治会員それぞれにどういうふうに着いてもらうか、知ってもらうか、そういうところでハテナなんていうのはとてもすばらしい。学校を通じて、自治会を通じて、すばらしいなと思いましたね。

それから、先ほどもちょっとお話ししたのですけれども、自治会の視点というのは、どうしても私も、出身がそういうふうなことなもので、その中というのは何が必要かという、本当にここに住んでいてよかったなというのは、自治会の存在意義というのかな。その存在意義というところが、我々にとっては、会員の方々、御近所の方々と、とてもつながるんですよ。そこを徹底していくやり方というのはどんなことなのかなと。

我々が会議の中でアイデアをいっぱい出すんです。区民会議でひとつこういうのを取り上げて、果たして予算がつくのかなとかね。この予算的な考え方ということでもって、いや、そんなことを考えなくてもいいから、どんどんやっちゃおうよというふうな乱暴な意見というのはなかなか出ないんですね。そこで、この予算的な心配のない考え方というのを区民会議で何か——区民会議のあり方というのを田辺さんが言っていたのですけれども、そんなところの感覚というのかな。それを、予算なんていうのは考えなくてもいいよ、区民会議というのは区長に提言するだけでないよというところの、何かもうひとつ大きな幅というのか、広さを持ってもらうと、これから申し送

り事項を受けた人たちもやりやすくなるのではないかなという感じを受けました。

もっと課題ということについていっぱい討論したいという大槻さんのお話がありましたけれども、まさに我々、この2年間やってきて、私は小学生から中学生ぐらいになったかなという反省なんですけれども、さらにもっと進歩するためには、この課題に対して意識をして、知識を広めて、そしてそれを広げていく、こういうことでもって高校生、大学生になりたいなというふうに感じております。よろしく願いいたします。

滝本委員 私も区民会議の中で、去年から初めて参加したのですけれども、私はまず「ぐるっとみやまえ」という情報ラボの情報誌で取材に行ったときに人と話してすごく勉強になることがあり、それを人に伝えることが自分の楽しみでもあり、それを子どもと一緒にできたらいいなとか、逆に先輩、高齢者の方とかからもよく話を聞くことが、本当に勉強になりました。

あともう1つは、冒険遊び場など、実は知られていないけれども、公園をどう使おうとか、時代の中で安全って何だろうと。1人1人違う価値観を持っている中で、多様な人が暮らす中で、一緒に使える公共の場、その中で、冒険遊び場でロープを張ったり——難しいことを実現するには、続けていくには、その町内の方とか区役所の行政の方とか、地域のお母さんとか子どもたち、いろんな力で、いろんな種類の人が混ざり合って、協力して、初めてできることだなというのを感じました。

今回も魅力探訪ということで、魅力というのは、多分いろんな人たちが自分と違う人たちと話し合うこととか、住んでいる中の暮らしの苦労をいろいろ語り合うこととかで、また発見したり次のステップへ進もうという、ちょっと自分も、1人のことじゃなくて、隣の人とかと一緒にやって進めていこうという勇気とかになると思いました。会議の中でできたことは、すごく小さな力だったと思うんですが、勉強になりました。ありがとうございました。

小田委員 委員の小田です。私は、魅力探訪部会のメンバーとして活動をさせていただきました。個人的に一番よかったことは、宮前区のさまざまな場所をよく知ったことです。長いこと私は宮前区に住んでおまして、知っていることが多いと自分で思い込んでいたのですけれども、やはりこれは思い込みだけであって、知らないことなどが改めて自分で自覚されました。魅力探訪として、何度も宮前区の魅力的なところを歩きました。

それから、個人的にはまた別なグループで宮前区の中をあちこち歩いたりしているのですけれども、そのたびに新しいものを見たり、例えば季節によって、ある季節に平瀬川のほうに行くとアオサギがいたんですね。あと、カワセミですか。カワセミは夏ですかしらね。その季節ごとにそこのところの魅力をまた知ることができました。それは私にとっては宮前区をより広く知るきっかけになりまして、視野も広がり

ました。

もう1つは、宮前区で活動しているグループや団体がとてもたくさんあって、その人たちがこの区民会議の活動に協力してくださっているということ。それはとてもありがたいなど、随分さまざまなグループや団体からお世話になったと思います。私自身も、それからまた、委員の皆様ともお知り合いになれまして、皆様さまざまなことをなさっているので、そういった方たちとの交流で私自身が、小中学生から大学生と黒澤委員がおっしゃったけれども、私もそんな感じがいたします。本当にありがとうございました。

太田委員 太田でございます。何を言ったらいいか、難しいんですけども。私は4期、5期とやらせていただきました。そして、私は区民会議だけでなく社会福祉協議会、それからまちづくり協議会、いろいろなところに顔を出して、どこでも顔を出しているという1人なんですけど、やはり区民会議の皆さんと御一緒に、このくらし部会に参加させていただいて、皆さんのお力を本当にいただいて、勉強になりました。ありがとうございました。

ああ、こういうふうにとまとめればいいんだな、こういうふうにとっていくといいんだなということがよくわかりました。なかなかこれだけ多くの意見、そしてお力のある皆さんを集めての区民会議は運営が難しく大変だろうと感じておりましたが、ここまでまとめられて。そして、カフェは絶対あるといいなと思いましたので、また別の方面からカフェづくりをやってみたいなという思いを今持っている1人でございます。余力を出せませんでしたけれども、また何か機会がありましたら、皆様ともぜひ御一緒したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

細谷委員 まちづくり協議会から推薦を受けまして出てまいりました細谷です。区民会議に当たっては、問題提起が広過ぎて、最初のテーマ絞りが非常に苦労したというか、いろんなことがあって、私もまちづくり協議会で長く活動をしてきているもので、いろんな活動団体の方とか、非常に顔見知りになっていたつもりなのですが、区民会議に出ましたら、川田さんとか、まだまだ知らない人が宮前区にはいるんだなという、また新しいおつき合いができて、よかったと思います。また、くらし部会で提案したほっとやすらぎステーション、ぜひこの活動はもっと広げていきたいと思います。ありがとうございました。

田辺委員 どうも、ずっと辛口ばかりのコメントをしておりました田辺ですが、最後まで辛口で締めようかなと思っています。

一番言いたかったことは、先ほど申し上げたとおり、区民会議のあり方を抜本的に見直すことが必要かなということ。それにもしつけ加えらるとしますと、今、私の感想としては、宮前区は多分川崎7区の中で一番まちづくり、あるいはそれに近い活

動に熱心に取り組んでいる方が多い区だなとは思いますが。ただ、問題の一つは、いろんなところでダブリがあるんです。いろんな印刷物も、いろんなところから同じような内容のものがたくさん出ています。

私、いつも思うんですけども、この区民会議をこの2年間参加させていただいて、つくづく思うのは、まちづくり協議会と区民会議もかなりダブっているんですね。ほかの6区と違う点は、宮前区の場合はまちづくり協議会は前身の団体も含めると、もう20年もやっているんです。区民会議のほうはずっと後からできて、しかも、阿部市長だったと思いますが、官のほうの、行政主導で始まった。一方でまちづくり協議会は市民が中心になってつくったということが全然違うんですね。したがって、委員の構成もまちづくり協議会の場合は公務員が中心です。こちらはどちらかというと公務員は少ないという。

幸か不幸か、来期の委員は、まちづくり協議会からまた1人出さなきゃいけないということで、みんなに聞いてみたのですが、誰も手を挙げないので私がもう1期やるのですが、正直申しまして、何かヤクルトスワローズの一員であると同時に読売ジャイアンツの選手であるというふうな複雑な気持ちで、今後の2年間どう過ごしていいものかというのが正直悩んでいるところなんです。また来期は違う方々が、大分かわると思いますので、どんなことになるのか、不安と楽しみと両方あるという感じですね。ありがとうございました。

大木委員 スポーツ推進委員会から出ております大木です。よろしく申し上げます。先ほどから6期への課題の取り組みの継続ということがよく言われていますけれども、古い委員と新しい委員と一緒にスタートをするということなので、スタートラインが難しいかなと思いますが、そういうことがこれからの問題ではないかと思います。また、委員になっていろいろな情報が入りまして、きょういただいたこの写真集もそうですけれども、大変勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

青木委員 社会福祉協議会から推薦を受けました青木でございます。社会福祉は地域の福祉の増進を図ることを目的としていまして、今後どんどん高齢化社会になっていく中で、暮らしやすい社会は、やっぱりいろんな人が交流できる場をできるだけつくって、顔の見える社会を目指さなきゃいけないと思っています。そういう意味で、できるだけ地域の人たちが集う場所をここで、誰もが暮らしやすいというのはお互いに助け合う互助社会を目指さなきゃいけないと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

川畑委員 公募で今回参加させていただきました川畑です。初めての参加で大役のくらし部会長という、未熟ながら、御迷惑をかけながら、進められたことをすごく感謝しております。

私、地域包括ケアシステムをどうにかやっぱりつくっていききたいなとテーマを決め

て、参加させていただきました。参加してよかったのは、この宮前区の現状がよりよくわかったということと、やはり身近に感じた。もっともっと宮前区のことを知りたいなということを感じました。この委員にならなければ、これだけの意識にはならなかったんじゃないかなと思ったので、それに対してはすごく感謝しております。

あと、1つ今後の課題として、つなぐという意味で、今回は高齢関係を中心に来ましたが、今、宮前区は子育ての世代が多いので、次の世代にどうつないでいくかというのを今度のテーマにしながらかやっていく必要があるのではないかなと感じました。

2年間ですが、ありがとうございました。

佐々木副委員長 佐々木でございます。私は、今回の第5期、その前の第4期から含めて4年間、委員をやらせていただきました。年齢的にも多分若干下のほうだと思うんですけども、第4期のほうでは部会長を務めさせていただきました。今回は副委員長という形で、非常に若輩者なのですが、皆さんの御支援をいただいて、そういう形でやらせていただきました。

第4期は部会ではマイパーク構想というものを最終的にまとめて、公園を中心としたネットワークをつくろうということで第4期は終わりました。第5期は、このみやまえ魅力探訪ネットワークということで、ちょっとテーマは違うのですが、またそういうつながりをつくろうということです。私も3月で一応退任ということになりますが、第4期、マイパーク構想というのが絵に描いた餅で、そのまま終わっちゃったという非常に苦い経験しておりますので、この魅力探訪ネットワークがまた絵だけで終わらないようになればいいなというふうに個人的にも思っております。

その中で、やはり区民会議は提言のところでどうしてもとまってしまう。実際に進めるのは行政の方々が多分中心になるのかなと。ぜひそれを支える——どうなんですかね。参与の方々もやはり支える力だと思うんですけども、この4年間を通して、参与の方々は多分相当忙しい中、参加されていると思います。ただ、いつも、私は4年間、特に持田参与はいつも顔を拝見して、あんなに忙しい中にこんなに参加していただいているということを非常に感謝しております。そういう参与の方がぜひ増えて、実際の議会の中でいろんな検討もされていって、行政の方々が実行しやすいような、そして市民が協力できるような環境が整えば、皆さんが一番心配している継続性とか実効性というものが少しは前に進むのかなと思っております。

4年間どうもありがとうございました。

川田副委員長 今期、くらし部会のほうに参加させていただきました。区民会議は第5期が初めてということで、2年間やってまいりましたけれども、私が思ったのは、宮前区は協働ができるまちだなと。行政、それから区民の両者が本当に協働していける、とてもいきやすい区なんじゃないかなというのを感じるんです。

今期、くらし部会をさせていただきましたけれども、区づくりに対して、これをく

らし部会から提案させていただきます。ところが、私たちのこの提案は、区役所ではなかなか入り込めない、わからない部分がすごくあって、さあ、丸投げで渡して、それがこのまま引き続きやっていけるものかどうか。ちょっと厳しいんじゃないかなという気はするんです。これはやっぱり役割の違いだと思うんですね。

ですので、そういう面では、ここにおります区民の代表の方、それから宮前区役所の方、議会の方、例えばこの三者で協働をしていく。それぞれの役割を持って、できるところをお互いに埋め合ってやっていく。それがとても大事だと思うんです。ですので、この2年間の私たちの成果というものを提案はさせていただきますけれども、区民会議が今までのように2年間の提案をしてそれで終わりで本当にいいものなのか。本当にいい区づくりにするためには、やっぱり区民会議もともにやっていかなければいけないのではないかということをととても強く感じております。

この2年間、お顔を拝見すると、何か寂しいなという気はすごくしますね。それだけ、とても皆さん、本当に実のある内容を検討しながらやってきていただきました。この2つの課題をほかの区にも胸を張って成果を言えるなという感じで作ることができて、充実した時間を持たせていただきました。本当にどうもありがとうございました。

宮崎委員長 どうも済みません。一番最後になりましたして、私も皆さんの御意見と非常に似通った部分があるかと思うんですけれども、一言だけ。

この区民会議に2期、計4年間、委員になって、そこで何がわかったかという、やはり宮前区は税金の投資経費が7区の中で一番低い。インフラがその分ない。非常に遅れている。その2つを私は委員になって初めてわかりました。そういったことというのは、こっちからちょこちょこ出ていかないと、普通ではなかなか読めない、わからないですね。そうはいつでも、それを何か違う形でエネルギーにかえて、よりよい地域社会の発展のために頑張らせていただこうかなと思っておりますので、今後、皆さん方とどこかで出会うことがあるかと思いますが、その節はよろしく願いいたします。

それと、最後になりましたが、締めの挨拶をお願いしますと進行台本に書いてありますので、拙い——54分ですから、時間がありますので。いろいろ本当に長い間ありがとうございました。これからもひとつよろしく願いいたします。これで締めの挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

3 その他の連絡事項

司会（秋山） 宮崎委員長、どうもありがとうございました。いつもいろいろな御意見が出て、非常に機知に富んだ全体会になるので、私も非常に感動しております。実際、

2年間の会議、全体会は今回で最後でございます。ただ、またフォーラムもござい
ますので、その機会できろいろと意見交換ができればと思っております。

ここから、事務局より連絡事項がございますので、御報告をいたします。

事務局（小山） 企画課の小山です。今後のスケジュールについて簡単に御説明をさせて
いただきたいと思います。

資料の13ページをお開きください。今後の予定を簡単にまとめさせていただいてお
ります。

最初に、2月26日にほっとやすらぎひろばの開催ということでございます。こちら
に関しては川畑部会長から、ちょっと一言御紹介をいただいでよろしいでしょうか。

川畑委員 はい。隣の14ページにチラシが入っているかと思いますが、先ほど軽く報告し
た2月26日の15時から15時30分と書いてありますが、一応16時までやります。そのと
きに、この平山さんという方が、音大で、もともとプロ歌手なんですね。お客さんで
来た方に聞いたら、すごく感動したということで、じゃ、もう1度これを企画して、
やっていただいて、その後にこういう相談コーナーを、地域包括の方も呼んでいます
ので、受けるという形でやっていきたいなと思っております。

参加は申し込み不要となっておりますので、お店、カフェにランチがてら、ぜひ御参
加していただければと思っております。

事務局（小山） ありがとうございます。

続きまして、13ページの中ほどになりますけれども、先ほど会議の中でも御説明が
ありましたが、3月上旬、区民会議フォーラムの前までに区長への提案書の提出を予
定してございます。またこちらの日程につきましては別途調整をさせていただきたい
と思っておりますので、よろしく願いいたします。

そして3月13日に区民会議フォーラムということになっております。

今後のスケジュールについては以上でございます。

また、本日、お手元に2つほど資料をお配りさせていただいております。こちらは
いずれもまちづくり協議会からの御紹介ということで、田辺委員から一言お願いでき
ればと思っております。

田辺委員 2つ、お手元のほうに配付させていただきました。

1つは小冊子になっておりますフォトコンテスト10周年記念入賞作品集でございま
す。これは我々の魅力探訪部会のテーマとも重なっておりますけれども、10年前に始
めましたフォトコンテスト、宮前の美しい風景、伝統行事、あるいはまちづくり活動
をテーマにした区民の応募による写真コンテストなのですが、ことしは10周年を迎え
まして、それを記念しまして過去10年の入賞作品を集めたものです。なお、きのうか
ら来週の火曜まで、この第10回のコンテスト応募全作品を市民館のギャラリーでも展
示しております。

あと、チラシのほうは、明日になるのですけれども、毎年恒例のまちづくり協議会のイベント、まちづくり広場ラブみやまえです。

もしお時間ございましたら、ぜひ寄っていただければと思います。ありがとうございます。

司会（秋山） 報告事項は以上でございます。これをもちまして第8回の区民会議、全体会を終了したいと思います。第5期についてはこれにて終了でございます。委員の皆様、御参加の参与の皆様、本当にありがとうございました。

葛西委員 済みません、一言だけ言わせていただいてもよろしいですか。きょう初めて見て、ちょっとびっくりしたのですけれども、実は40ページの131に私たちの団体、親子学級「おひさま」が、身内では優秀賞をとれたよと喜んでいるのですけれども、こちらに載せていただいたので、ぜひとも、私たちの活動をちょっと見ていただけたかなと思って。

宮崎委員長 「お散歩中の公園で」というもの。

葛西委員 はい。そうなんです。親子学級というのは、勉強されているお母さんたちのお子さんたちはみんなお部屋で保育をしているのですけれども、それを運営しているお母さんたちの子どもたちは、外でこうやって遊んでいます。9月から12月まで公園で遊んでいて、通りがかりのおばさんとお話ししたりとか、地域の中で育てていただいていますので、ちょっと見ていただければなと思って。ありがとうございました。

（「すばらしいね」等の声あり）

司会（秋山） 済みません、繰り返しになります。本当にありがとうございました。以上で終了でございます。（拍手）

午後8時閉会